

栄養大和

NO. 99

2021,6,16

公益社団法人

奈良県栄養士会

奈良県磯城郡田原本町大字三笠22-1

サンライズ三笠Ⅱ 301

電 話 (0744) 33-2166

F A X (0744) 33-2177

郵便番号 636-0342

ご 挨拶

(公社)奈良県栄養士会会長 松 田 仁



機関紙「栄養大和」の発刊に際して、一言ご挨拶を申し上げます。

今年は異常なほど梅雨入りが早く、総会当日もあいにくの天候となりましたが、1年の節目となる第9回定時総会を無事終えることができましたことを、ご報告させていただきます。

さて、昨年度は事業を進めるにあたり、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって会員皆様の安心・安全に配慮するため生涯教育研修会や各事業部が主体となって開催する研修会の一部を残し中止せざるを得ない事態となり会員皆様にはご不便をおかけ致しましたが、今年度は、皆様の協力のもと生涯教育研修会を始め、各種研修会はズームを使用してハイブリット方式で開催を実施すべき準備を進めていますので多数のご参加をお待ちしております。

それと、ホームページを全面リニューアル(<https://nara-eiyoushikai.or.jp/>)を行い、各種研修会もパソコンやスマートホンからでも閲覧・申し込みができるように対応を進めているところであります。

本年度は、福祉関係に於いて介護報酬改訂があり、栄養関係の概要として「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」の5項目が挙げられています。その中に於いて特に本県では地域包括ケアシステムの推進に向け県内市町村の地域包括支援センターに出向き地域ケア会議への参加を促し食と栄養の専門職として、地域社会の多様な食と栄養に関する諸課題解決に向けた取り組みを推進したいと考えています。

現在、管理栄養士・栄養士を取り巻く環境は大きく変わってきていると言われ、その代表的なことが以下であります。

- ①感染症の新型コロナ問題
- ②持続可能な開発目標 SDGs
- ③Society5.0 です。

①では管理栄養士・栄養士は、「栄養の指導」を通して、人びとの栄養・食事・健康に貢献しますが、その指導方法等に新たな対応が求められています。

②栄養分野における SDGs では、環境に負荷をかけない持続可能な「健康な食事」の実現が急がれています。

③最後に Society5.0 で、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、最先端技術を活用した人間中心の社会（Society）で、遠隔での対応を可能にするIT機器の活用は今後避けては通れない問題であると言われてしています。

最後になりましたが、コロナ禍の中での活動ではございますが、奈良県が目指している「健康長寿日本一」に、食と栄養の専門職として最新の知識を習得するとともに、個人や地域の元気を支えるために、会員相互の積極的な関わりや力を合わせることで県民の栄養改善、健康の保持増進、生活習慣病の予防・改善に貢献尽力し「健康長寿日本一」を目指したいと考えています。

今後とも、目的達成に向けて寄与できるように努力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

奈良県栄養士会 7月～12月の事業・研修会の予定

研修会

◆2021年 福祉事業部全体スキルアップ研修会

場所：帝塚山大学 学園前キャンパス

令和3年7月17日(土) 10:00～16:40

講演：地域共生社会、ICT社会の中で管理栄養士・栄養士の役割と期待
～AI社会でプロとして今、私たちがすべきこと～

講師：(公社)日本栄養士会 理事 加藤すみ子氏

◆スキルアップ研修事業

場所：奈良県社会福祉総合センター

日時：令和3年7月31日(土) 13:00～

内容：オーラルフレイルとスポーツ栄養

◆スキルアップ研修事業

場所：未定

日時：令和3年8月25日(水) 13:00～

内容：軽度認知症患者への料理療法を学ぶ

生涯教育研修会

◆第2回

令和3年7月10日(土) 13:00～16:10 場所：奈良県営福祉パーク

◇講演：糖尿病の最新情報

講師：奈良県立医科大学附属病院栄養管理部 管理栄養士 山口 千影氏

◇講演：薬の相互作用について

講師：奈良県薬剤師会 理事 倉本 孝氏

◆第3回

令和3年9月18日(土) 13:00～16:10 場所：未定(ハイブリッド方式で実施)

◇講演：看取り期の食支援のあり方 ～最期まで口から食べる？食べない？～

講師：愛知学院大学心身科学部健康科学科 准教授 牧野 日和氏

◆第4回

令和3年12月4日(土) 13:00～16:10 場所：未定(ハイブリッド方式で実施)

◇講演：認知機能による摂食障害

講師：奈良県総合リハビリテーションセンター 言語聴覚士 松下 真一郎氏

◇講演：摂食指導の実践 ～重い障害を持つ方への摂食嚥下サポート実践報告～

講師：重症心身障害児学園バルツァ・ゴードル 管理栄養士 八木 万希子氏

理事会

8月28日(土) 第3回理事会 場所：奈良県営福祉パーク

10月9日(土) 第4回理事会 場所：未定

12月11日(土) 第5回理事会 場所：未定

ホームページリニューアルのご案内

副会長(HP委員長) 中川 昌代



昨年度よりこれまでホームページ委員会等を開催し、会員や県民の皆様へ、「よりわかりやすく」、「より見やすい」、「より有効な情報発信」を目指して各委員と議論を重ねて参りました。その結果、全面リニューアルしたホームページを公開することができました。

これもひとえに関係各位のご理解ご協力のおかげとこの場をお借りして感謝申し上げます。

オープン当初計画より少々遅れましたが、皆様方もご覧になりましたか？ パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットでも検索しやすくなりました。ご覧いただいた方からは「明るく見やすくなった!」、「スマホからでも見やすかった!」等々様々なご意見をいただいております。

トップページでは、奈良県らしさを出しながら、奈良県栄養士会のキャッチフレーズ・基本方針を謳っています。

上段の「奈良県栄養士会について」をクリックしていただくと、会長の挨拶や種々メニューが掲載され、そのバナーからも必要なページへと展開することができます。

トップページの中ほど(中段)では「入会案内」、「レシピ集」、「栄養ケアステーション」、「研修カレンダー」、「乳児期幼児期の食事」、「お役立ち情

報」のコーナーを設けて検索しやすくしています。「入会案内」の奈良県栄養士会のマスコットキャラクター「かなえ(鹿奈栄)ちゃん」もリニューアルしました。「レシピ集」では各事業部が作成したレシピがここから閲覧できます。今後、逐次充実していく予定です。



「栄養ケア・ステーション」では、趣旨や事業内容を掲載しています。この栄養ケア・ステーションでは栄養指導や講演会での講師など対応が可能な人材を募集しています。下段に管理栄養士・栄養士の新しい人材登録カードが貼り付けられていますのでダウンロードできます。(従来の登録カードを更新して自分の得意分野を登録していただくことも可能です。)是非登録をしていただくようお願いします。

「研修カレンダー」は、研修会の情報が閲覧できます。トップページの下の方には、「お知らせ・最新情報」「研修情報」も見ることができます。「WEB 研修」については、今後充実していく予定です。機関紙「栄養大和」についても、ここか

ら閲覧できます。一度、奈良県栄養士会を検索(<https://nara-eiyoushikai.or.jp/>)して、色々な情報が閲覧できますので是非とも活用をお願いしたいです。

今、HPリニューアル版はできましたが、テーマによっては未完の箇所があり、その整備や各事業部からの情報発信の充実を図って参ります。会員の皆様におかれましては、情報の共有と各般での有効活用をしていただければ幸いです。

一方、これからは各事業部の事業部長やホームページ委員各位には内容の充実・更新・アップをしていただくことになります。更新は、「Word Press」というソフトウェアを使用して作業を行いますので、各位には5月20日(木)にその作業のための研修を受けていただきました。この研修会では、皆様とても熱心かつ意欲的に受講されていました。

今後、ホームページの充実を図りながら奈良県栄養士会の円滑な推進に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



(公社)奈良県栄養士会 新マスコット
鹿 奈 栄 (かなえ) ちゃん

(公社)奈良県栄養士会 令和3年度 第9回定時総会

日時 令和3年5月27日(木)

午前10時～午後3時30分

於：リガーレ春日野

会員数 522名

出席者 49名

書面表決 329名

委任状 7名

合計 336名

定款第18条の規定により成立いたしました。

議 事

(1) 報告事項

報告第1号

令和2年度事業報告について

報告第2号

令和3年度事業計画について

報告第3号

令和3年度収支予算について

(2) 議案事項

第1号議案

令和2年度収支計算書及び財産目録承認の件

以上の議案について可決・承認されました。

記念講演（協賛：伊那食品工業株式会社）

冷凍保存できる嚥下食

医療事業部 尾 田 文 代

講師：赤磐医師会病院副院長 柚木 直子氏

栄養科長 草谷 悦子氏

まず、柚木先生より赤磐医師会病院の紹介と何故嚥下食、介護食に注目され力を入れるようになったかについてお話がありました。

12年前、東京であった会食でフレンチのシェフが普通食と嚥下食の2種類を美しく美味しく提供してくださった時、高齢者で介護食になり食事が進まず低栄養となってしまう方々にこの提供方法なら食べてくださるのでは、と考えたことが始まりだった。

そこで、病棟で嚥下食の食事会をし、食べる楽しみを支えてあげると喫食率もあがり低栄養が改善された。この事から「いっしょに食べよう」冷凍保存ができる簡単嚥下食の本が生まれた。その後、他職種や地域連絡会などでも紹介し、岡山県の高齢者の食を考えるフォーラムに参加し、新聞・ラジオでも注目されていき「今日もいっしょに食べよう」の本を出版。その後病院で、一日嚥下食会や嚥下食の調理研修会をしていく中で簡単に嚥下食ができる方法を考える中で「冷凍保存できる簡単嚥下食」が生まれた。美しく楽しくおいしいおもてなし嚥下食を、今後日本のみならず世界に発信していきたいというお話でした。

次に管理栄養士草谷先生より栄養士の目線で、高齢者の食べる楽しみを支えたいから冷凍保存で簡単嚥下食が生まれた。

百寿者の食生活は40歳頃から現在までの食事のとり方について、心がけていることとして①1日3食規則正しく食べること、②腹八分目、③緑黄色野菜を食べる、④魚・肉・卵などの摂取を心がけている、⑤特に乳製品を多く食べる食事パターンの人で生存率が長い。

日本人の長寿を支える「健康な食事」を構成している要因の中に地域力と健康・QOLの維持・

向上があるが、食の場面で選び方・整え方・食べ方。食材・調理・おいしさ・楽しみ。食事観・食思考。栄養バランスにより健康寿命の延伸。

（※詳細は厚生労働省のホームページにあり）

高齢者にとって「食べること」はエネルギー・タンパク質の十分な摂取で筋たんぱく質・内臓たんぱく質の維持ができ、身体機能・生活機能・免疫の維持につながる。また、要介護状態や重症化の予防となり、QOLの維持・向上、健康寿命の増大となる。しかし、実際の高齢者の食生活を考えると、1日の食事で多くの量が食べられない、咀嚼機能が低下し、食べにくい食品群がある、薄味にするとなかなか箸が進まないことから、エネルギー・タンパク質の十分な摂取ができず低栄養となっている。在宅高齢者の口から食べる楽しみの支援に在り方に関する調査報告書では歯の状況や摂食嚥下が悪くなくても食事は楽しい、普通食を食べたいとなっています。その願いを叶えたいことから、嚥下調製食分類に合わせた食事の作り方を考えられ均質性があり、口の中でばらけにくい、固すぎない、作り方が同じ、割合が覚えやすい、素材の味がする、栄養価が落ちていない、冷凍保存ができる、作りたいが叶う固化化剤（ブチドリップ・イナアガーF・トレハロース）を作られた。

これを使った色々なストック食材の調理方法、普通食に見える嚥下食の食事作りを見せて頂き、最後に玉子のにぎり寿司の調理教室をリモートで見せて頂きました。

コロナウイルス感染拡大防止対策の為にリモートによる講演会でしたが、高齢者の人口が増加していく中で嚥下食、介護食を作るうえで貴重な講演をして頂きました。

なお、この記念講演は、下記URLにアクセスしてYoutube（ユーチューブ）にて6月いっぱいご覧になれます。会員限定となっていますので取り扱いにはご注意下さい。

<https://youtu.be/x9Wrkyh-2tI>

地域活動部会勉強会

『栄養ケア・ステーションについて』に参加して

地域活動事業部 阪 倉 美代子

日 時：4月18日（日）19：00～20：30

内 容：「認定栄養ケア・ステーションについて」

（公社）日本栄養士会栄養CS事業部

部長 田中 弥生 先生

事例発表

①山形県 柿崎 明美 会員

②東京都 所澤 和代 会員

③沖縄県 山里 瑠美 会員

今後の地域栄養活動における栄養ケア・ステーションの重要性をご講演いただきましたので箇条書きになりますが報告します。

①栄養ケア・ステーションの地域ケアにおける課題整理

- ・低栄養が77.5% そのうち60%が嚥下機能障害
- ・在宅栄養管理の現状：家族力低下。
- ・本人の問題：認知症進行
- ・運動不足、栄養にたいする誤認識

上記の解決策として→配食の充実、栄養調理支援指導、栄養ケア計画の作成が必要である。

②解決への問題点

- ・市町村高齢者部門への栄養士配置が少ない。
- ・ヘルパー調理の援助との共有ができない。
- ・在宅訪問栄養指導の連携栄養士を家庭への派遣できることの周知がない。
- ・高齢者食事サロンを増加させることができない。

③打開策とビジョン

栄養ケア・ステーション設置推進が打開策として重要である。

多職種、地域住民に在宅訪問栄養指導が認識不足であるのは、栄養講座やケアマネへの周知がなされていない→各職種団体への営業力が必要とされる

これからのビジョン

- 1、栄養ケア・ステーション（以下栄養CS）は管理栄養士・栄養士の活動拠点である。
- 2、地域密着型である
- 3、栄養ケアを提供するしくみがある
- 4、栄養ケアを提供するための拠点である
具体策

- ・栄養CSは地域住民の日常生活の場で実施する
- ・栄養士が地域住民に対し、アウトリーチとアクセスを抜本的拡充して行く取り組み
- ・栄養CSが食に対するプライマリヘルスケアの協働ネットワーク事業を組織化

『顔の見える管理栄養士づくり→かかりつけ栄養士』へ

今後の認定栄養CS業務と事業としての展開

- 1 栄養相談
- 2 特定保健指導
- 3 セミナー
- 4 栄養関連の情報提供
- 5 スポーツ栄養相談
- 6 栄養、料理教室の企画運営
- 7 診療報酬、介護報酬にかかる栄養食事指導
- 8 上記以外の医療機関と連携した栄養食事指導
- 9 訪問栄養食事指導
- 10 栄養成分表示に関する指導相談
- 11 地域包括システムにかかる事業関連業務

（認定CS申請や内容は日本栄養士会認定CS規則施行細則など参照ください）

後半はそれぞれ各地域の実情にあって立ち上げた3名の会員より、栄養ケア・ステーションの3事例の紹介発表がありました。

講演の最後には田中先生から全国の地域活動栄養士に向けての激励として

『顔の見える管理栄養士・栄養士は地域活動事業部の皆さまです！！』

地域システム構築活動が重要！』

『地域活動で栄養ケア・ステーションの旗を掲げよう！』

との力強い言葉をいただきました。

令和2年度 第4回理事会報告

日時 令和2年12月12日(土)

PM1:30～3:30

場所 奈良県営福祉パーク(福祉体験館)

1. 会長挨拶 松田 仁会長

2. 議長選出 松田 仁会長

3. 定数確認 出席理事 20名

4. 報告事項

- (1) 代表理事活動報告
- (2) 近畿地区栄養士会長並びに日本栄養士連盟
近畿地区支部長合同会議報告
- (3) 地域ケア会議助言者養成研修会
- (4) 食生活と植物油栄養に関する講習会
- (5) フレッシュバジルについて
- (6) ホームページ委員会の開催
- (7) 栄養大和NO.98について
- (8) 生涯教育研修会について

5. 協議事項

- (1) 令和3年度事業計画案の作成について

6. その他連絡事項

- (1) 各事業部、支部、委員会よりの報告事項

令和2年度 第5回理事会報告

日時 令和3年2月20日(土)

PM1:30～3:00

場所 奈良県営福祉パーク(福祉体験館)

1. 会長挨拶 松田 仁会長

2. 議長選出 松田 仁会長

3. 定数確認 出席理事 20名

4. 報告事項

- (1) 日栄第2回諮問会議報告
- (2) 近畿地区栄養士会長並びに行政合同会議報
告
- (3) フレッシュバジル事業報告

5. 協議事項

- (1) 2021事業計画(案)について
- (2) 2021年度収支予算(案)について
- (3) 資金調達及び設備投資の見込みについて
- (4) 2021年度第9回定時総会について
- (5) 議決権行使について
- (6) 新入会・退会について
- (7) 2021年度生涯教育について
- (8) 2020年度予算の執行について

6. その他連絡事項

- (1) 各事業部・委員会及び支部等からの報告

令和3年度 第1回理事会報告

日時 令和3年4月17日(土)

PM1:30~4:30

場所 奈良県営福祉パーク(福祉体験館)

1. 会長挨拶 松田 仁会長

2. 議長選出 松田 仁会長

3. 定数確認 出席理事 22名

4. 報告事項

- (1) 代表理事活動報告
- (2) 令和2年度第1回日本栄養士会 諮問会議報告
- (3) 令和2年度日本栄養士会定時総会報告
- (4) 令和2年度第8回定時総会報告

5. 協議事項

- (1) 理事会役割分担と責務
- (2) 令和2年度事業年間計画
 - (ア) 健康づくり提唱のつどい
 - (イ) 食生活と植物油栄養に関する講習会
 - (ウ) 生涯教育研修会
 - (エ) 研究発表会
 - (オ) その他各事業部スキルアップ研修会
 - ①災害時栄養・食生活対策の構築
 - ②健康・栄養改善事業の評価方法の検討
 - ③介護予防のためのスキルアップ研修会
 - ④フレッシュバジル
 - ⑤高齢者の口腔の機能維持と口腔ケア
 - ⑥福祉施設等に関わる管理栄養士・栄養士研修会
 - ⑦地域ケア会議助言者養成研修会
- (カ) 近畿地区 行政担当者・栄養士会長合同会議について(開催:奈良県)
- (キ) 栄養大和第97号について

6. その他連絡事項

- (1) 各事業部・委員会及び支部等からの報告

新入会員紹介(5月31日現在)

名 前	事 業 部
浦 田 麻 琴	学校健康教育
松 井 桃 子	学校健康教育
山 本 理 沙	学校健康教育
尾 島 朋 子	研究教育
丸 谷 幸 子	研究教育
松 浦 奈 美	公衆衛生
松 田 直 美	公衆衛生
大 内 理恵子	地域活動
櫻 谷 尚 子	地域活動
村 井 香 枝	地域活動
鎌 房 麻理子	医 療
小 山 晋大朗	医 療
内 藤 由 莉	医 療
文 友 希	医 療
宮 本 若 奈	医 療
井久保 裕美子	福 祉
一 針 千佐子	福 祉
奥 田 佳 菜	福 祉
高 坂 依 美	福 祉
桜 井 優 子	福 祉
末 吉 葵	福 祉

新入会員は12月1日~5月31日の加入者です。

(以上21名)

新事務局長より

総会も無事終わりホッとしたところに栄養大和の原稿が待っていました。

4月から栄養士会事務局にお世話になってます柳大路(ヤナギオオジ)と申します。何十年も前に少しかじった経理の経験だけをたよりに初めての事ばかりで右往左往しています。今年から高齢者の仲間入りをしたジイサンですが、なにとぞよろしくお願いいたします。(拝)

KANSAI

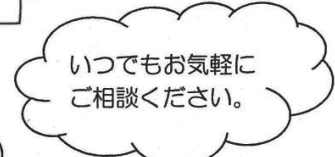
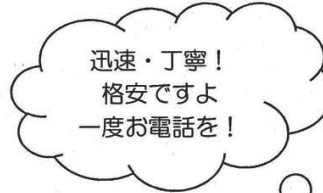
53年間の厨房経験を生かして

○調理現場での

「徹底した衛生管理」と「作業経験」を基本に
提案設計いたします。

○年中無休メンテナンスサービス

緊急連絡先 090-1445-1430



トータルキッチンプランナー



関西総合厨房

〒634-0045 奈良県橿原市石川町450-24

TEL/FAX 0744-28-3008

E-mail kansai-chubo@kcn.jp

営業所：大阪・京都・大分

安心と信頼の 総合厨房機器メーカー

業務用厨房機器製造販売



株式
会社

中西製佐所

□奈良営業所

〒639-1031 大和郡山市今国府町6-3

TEL:(0743)56-6001 FAX:(0743)56-6236

★ 東洋羽毛

水と、空気と、睡眠と。

睡眠セミナー 無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

＊—— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです ——＊

＊ 睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。 ＊

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。

正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。



東洋羽毛関西販売株式会社

〒615-0806 京都府京都市右京区西京極畔勝町8番

～お気軽にお問い合わせください～

京都営業所  0120-104046

進化する食事サービスをサポートする食器 MARUKEI®

HEAT SERVE 再加熱機器に合わせて選べる3つのシリーズ



PPS

ヒートサーブハイブリッド

スチーム量を気にせず使える
(スチコン・熱風式・冷蔵機能付き)



超耐熱メラミン

ヒートサーブエクセル

両面コーティングでより進化
(スチコン・熱風式)



超耐熱メラミン

ヒートサーブ

高い耐熱性・耐久性と使いやすさ
(熱風式)

里ごよみ

三つの絵柄と内側カラー
グレースで食膳を表情豊かに



コモン・コモンユニ

全ての人にやさしい形
使いやすいUD食器です

○国際化工株式会社 www.kokusai-kako.co.jp

支店・営業所 東京・大阪・札幌・名古屋・福岡・仙台 本社・工場 奈良

ホームページで
製品検索▶▶▶